



シルバーパス 実質無償化を

“元気高齢者”
の街・荒川へ

荒川総支部長

けいの信一が滝口区長に要望



都内で唯一、荒川区の「シルバーパス」実質無償化の実現を——東京都議会議員のけいの信一・荒川総支部長が5月20日、荒川区の滝口学区長に対し「物価高騰対策に関する緊急要望書」を提出し、「シルバーパスの実質無償化」を強く要望しました。滝口区長は「区民の希望を受け止め、前向きに検討する」と応じ、けいの信一は「物価高から生活を守り、高齢の方が元気に暮らせる荒川区に」と期待を語りました。

70 歳以上の都民が公共交通機関を無料で利用できる「シルバーパス」。これまで課税世帯で年額20,510円の自己負担が必要でした。都議会公明党の主張を受け、都では今年度の発行・更新から負担額が12,000円まで引き下げに。区が残り負担分を補助する実質無償化が実現すれば、都内では荒川区だけの取り組みとなります。今後は区の補正予算成立を経て、10月1日から新たな料金体系が開始する見込み。



夏の水道基本料金0円に

都議会公明党の要望受け実現

夏 の水道基本料金無償化で、いのちを守る暑さ対策を一東京都議会公明党のけいの信一都議らは5月19日、小池百合子・東京都知事に対し、「夏の水道基本料金無償化」を求める要望書を提出しま

した。これを受け、都は今夏4カ月間にわたり、一般家庭向けの水道基本料金を無償化する方針を発表。一般的な家庭においては、1世帯あたりおよそ5,000円の光熱費軽減が見込まれます。

